



大黒堂での日々の勤行



発行所  
比叡山時報社  
〒520-0116 大津市坂本本町4220  
郵便番号 520-0116  
電話 077-578-0001  
振替 00970-2-9732  
宗教法人延暦寺事務所  
定価 1部110円 年1200円

延暦寺広報

叡山講福聚教会  
会報

年会会費(3000円)中  
に会報(比叡山時報)  
購読料を含む。

令和2年比叡山から  
発信する言葉  
「不憚」  
一々の労を惜しまず



こちらから

購読は

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、外出自粛の呼びかけを受け、延暦寺では去る四月二十日から全山拝観停止、閉堂といたしました。ゴールデンウィークも連日のニュースで映し出されたように人出は大きく減り、比叡山でもちようど遅咲きの八重桜が見頃となりましたが、今年は殆ど愛でる人もないという状況でした。例年の法要や行事も縮小や中止となりましたが、大黒堂の浴餅よくびく供は参拝をご遠慮願うという異例のお願いをした上で一週間の修法が勤められました。

例年ですと泊まりがけのご信徒も含めて一日三座の修法には、参拝随喜のご信徒が真言や経典を誦読頂き、修法を助けて下さいます。また、全国のご信徒のもとで日頃ご活躍の大黒天様がこの浴餅供に合わせて本山へ里帰りされ、浴餅、文字通り餅粥を浴びて再生して、またそれぞれの信徒のもとにお帰りになります。本年は、参拝者も無く、ご信徒のお持ちになるご分身のご尊像も殆どなく、残念ながらお堂の中は寂しい限りでした。

修法の中では、この浴餅を「伝法授職の儀式」と呼んで、まさしく大黒天様の頭に灌頂を行うとあります。実際、修法の中で浴餅のための小さな大黒天様を、温めた餅粥の入った「多羅」と呼ばれる丸く平らなお鍋のような中に座具を置き、そこに据え祀って、真言を唱えながら小さな杓でその頂上に粥を漉ぎます。伝法灌頂は曼荼羅世界の中尊大日如来の職位に就くと云うことで、大黒様はもとの本体大日如来に戻られ、もう一度生まれかわって、教えを受け戒を受け、菩提心を起こし衆生救済の誓願を立てられるのです。

伝教大師が比叡山開山の折に感得されたという、大黒天、弁財天、毘沙門天の三身一体のお姿は、曼荼羅世界の三部の諸尊すべてをそれぞれ率いておられます。そして更に八万四千の護法善神が眷属として三面大黒天様を取り囲んでいます。修法の中ではこのすべての諸尊が大黒天様の灌頂を見守っています。観想の世界では大変賑やかです。

本年は大黒天様も日々、不安を抱える皆さまご信徒様のもとで、ご多用であったに違いありません。比叡山の地より、距離の遠近を問わず全国のご分身様、ご信徒様へ浴餅の功德を念じ申し上げた次第です。

まだまだ試練は続きます。三面大黒天様と八万四千の護法善神のご加護をお祈り申し上げます。

皆さまに大黒天様のご加護を